

Splash

➤ Splash

Splash（スプラッシュ）は、米国ユタ州を拠点に活動する少年少女合唱団 One Voice Children's Choir（ワン・ボイス・チルドレンズ・クワイヤー）からスピンアウトした、音楽家でプロデューサーの Masa Fukuda が率いる合唱グループ。

プロデューサーの Masa Fukuda、バイオリンの Mindy Andersen、少年少女の美しい音楽と歌声により、「世界中の子供達と言葉や国境を越え音や音楽で繋がること」という夢の実現を目指して活動をしています。

2020 年、日本でも音楽活動を始め、Splash（水しぶき）のように世界中に弾け飛んで多くの人々に感動を与えたいです。

➤ Masa Fukuda



福田真史（ふくだ まさふみ）

1976 年 4 月 15 日大阪府枚方市生まれ。5 歳から高槻市で育つ。

ヤマハのジュニア専門コース修了。マリスタブラザーズ国際学校中学部(神戸)を卒業。16 歳の時に渡米して、ユタ州のメリディアン高等学校を卒業。

プリンガム・ヤング大学で音楽を専攻し、メディア音楽修士号を取得。

2002 年ソルトレイクシティ冬季オリンピック記念アルバム CD に自作の曲が採用。

One Voice Children's Choir のプロデューサー総監督を務める。

ジョン・レノン国際音楽賞など数々の賞を受賞。

➤ One Voice Children's Choir

全米で最も実力があると言われている One Voice Children's Choir は、Masa Fukuda のプロデュースのもと様々な背景を持った子供達が参加して音楽活動を行っている。国籍、人種、宗教、文化といった背景、障がいや性格などの個性、性別や年齢差など、子供達それぞれは違っていることが当たり前でそれを互いに受け入れて尊重し合うことによって、それが美しい合唱のハーモニーを作り上げ約 20 年に渡って多くの人々に感動を与え続けている。

彼らが歌ったディズニー映画「アナと雪の女王」のミュージックビデオは、公開初日に視聴 100 万回を突破し現在までに 1 億回を超えている。2014 年にテレビ番組「アメリカズ・ゴット・タレント」で準々決勝まで進出。2015 年のクリスマスには、ホワイトハウスにてオバマ大統領の前で歌声を披露した。2018 年には、東京ドームシティーでミス・インターナショナル世界大会にてゲストアーティストとして出演。

現在、年間総計 50 以上の公演を行い、YouTube のチャンネル登録者は 190 万人超を誇り総アクセス数は 3 億回を超える。

➤ Rachael Shion Peel（ソロリスト）



レイチェル・詩音・ピール

2002 年東京生まれ。3 歳から松山バレエ団にてバレエを始め、10 歳の時に Tokyo International Players でのミュージカル主演をきっかけに本格的にミュージカルのレッスンをスタート。One Voice Children's Choir へ入団後、ニューヨークツアー、東京ツアーを経て、「Shine 2020」のソロリストに抜擢。

➤ **Splash “Shine 2020”選抜メンバー**



左から

Jefferson Murdock (17才)

Kalia Reyes (17才)

Maggie Scott (18才)

Blake Walker (12才)

Timothy Tani (7才)

Liliana Tani (11才)

Mia Walker (13才)

Rachael 詩音 Peel (17才)

Masa Fukuda

(2020年1月現在)



➤ **Mindy Andersen (バイオリン)**



Mindy Andersen (ミンディ・アンダーセン)

5歳よりバイオリンを始め、One Voice Children's Choirにも参加していた。

現在は、Masaと様々な演奏活動を行っており、One Voice Children's Choirの公演などで演奏している。2017年は熊本と福岡で、2018年は福岡と東京と大阪で、2019年は東京での公演に出演。

➤ **日本イメージ楽曲 3曲**

- 「くまモンソング」
2017年、熊本復興支援子供のための音楽会にて熊本県へ提供した曲
作曲 Masa Fukuda
作詞 Christi Adachi
YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=II5MEfKrPZ4>
- 「心をこめて」
2018年、著書「君だけの声を聴かせて」の出版を記念した曲
作曲 Masa Fukuda
作詞 Christi Adachi
YouTube <https://www.youtube.com/watch?v=a5oVed96e2k>
- 「Shine 2020」(シャイン 2020)
2020年東京オリンピック・パラリンピックをイメージ、未リリース
作曲 Masa Fukuda
作詞 Christi Adachi

➤ **Links - One Voice Children's Choir**

- Home Page <https://onevoicechildrenschoir.com>
- YouTube Channel <https://www.youtube.com/channel/UCRa07c47CSfHHC7DbXMgbuQ>
- Facebook <https://www.facebook.com/OneVoiceChildrensChoir>

➤ Masa Fukuda と One Voice Children's Choir 音楽活動ヒストリー

- 2002年
- Masa とユタ州の小学校 69 校から参加した 1,621 人が合唱した“It Just Takes Love”が、ソルトレイク・冬季オリンピックの公式曲の1曲として採用された
 - ディック・チェイニー副大統領の歓迎会でアメリカ国歌を披露
 - オリンピック開会式と閉会式に出演する少年少女合唱団 2002 Winter Olympic Children's Choir の合唱を指導
 - 合唱団を続けたいという子供達の要望を受け、オリンピック後も合唱団の活動を継続
- 2003年
- ジョン・レノン「ドリームパワー」グランプリ国際音楽賞をオノ・ヨーコ氏より受賞
- 2005年
- 合唱団は、現在まで続く NPO の One Voice Children's Choir として再組織された
- 2008年
- Masa はジャッキー・チェーンからの招待により、ジュディ・オングと日野皓正とのコラボ演奏をコンサートで実現
 - ユタ州で行われたインハーモニー子供国際音楽祭のホストクワイヤーとして、世界から 300 人の子供を迎えた
- 2011年
- 3月26日、東日本大震災復興支援のチャリティーコンサートをユタ大学で行い、非常用ブランケット 4000 枚と飲料水を宮城県石巻市と女川町に寄付した
- 2012年
- オリンピック 10 周年リセプションでミット・ロムニー大統領候補の前で国歌を披露
 - ロバート・レッドフォードから招待を受け、サンダンスのクリスマス会で熱唱
- 2013年
- 世界的「歌姫」ジャッキー・エバンコと 21,000 人の観衆の前で共演
 - レジェンドとして知られるバリー・マニローのバックアップシンガーとして出演
- 2014年
- 映画「アナと雪の女王」の主題歌“Let It Go”のカバーが YouTube で大きな反響を得た（2019年12月現在1億視聴回数以上）
 - NBC テレビ番組 “America's Got Talent” で準々決勝まで進み全米で注目された
https://www.youtube.com/watch?v=hslq_r6tExQ
- 2015年
- クリスマスにホワイトハウスに招待され、オバマ大統領の前で合唱を披露した
- 2017年
- フランス政府が主催する D デイ・メモリアル行事・パレードに特別ゲストとして出演
 - 熊本復興支援子供のための音楽会へ「くまモンソング」楽曲を熊本県へ提供
 - NHK BS1 スペシャルでドキュメンタリー「MASA と奇跡の合唱団」が再々放送 7 回
<https://www.nhk.or.jp/docudocu/program/2443/2396597/index.html>
- 2018年
- ミス・インターナショナル世界大会（東京）にゲスト出演
 - ラスベガスの MGM Grand にてブッシュ元大統領の演説の前に合唱
 - 著書「君だけの声を聴かせて」を PHP 研究所より出版（発行部数 1 万冊以上）
<https://www.php.co.jp/news/2018/04/kimikoetc.php>
- 2019年
- ジャッキー・チェーンとの再会し、彼の全米ツアー/アート展示会に招かれ公演
 - ニューヨーク（マンハッタン）にて、デビッド・オズモンドが率いる子供のテレビ番組「ワンダーラマ」にゲスト出演



Masa & Mindy



2015 @ホワイトハウス
(オバマ大統領夫妻と共に)



2017 @Normandy



2017 @くまモン音楽祭



2017 @福岡県朝倉市



2018 @ミスインターナショナル世界大会



2019 @Canal Cafe



2019 @天理教 東中央大教会



2019 @書とのコラボレーション
(上籠鈍牛先生)